「北 海 道 産 業 人 材 育 成 プラン」の概 要

第1 策定の趣旨

本道経済の活性化に向けて、産業振興施策と一体となって産業活動を牽引し、それを支える産業人材の育成・誘致施策の展開方向を明らかにする ため、「北海道産業人材育成プラン」を策定する。

(1)プランの性格

「北海道経済活性化戦略ビジョン」(取組期間:平成19~22年度)に基づき策定。

道が推進すべき産業人材の育成・誘致の基本方針であり、平成20~22年度までの3年間における集中的な取組を示し、国や大学、経済界、人 材育成機関などとの連携のもと、オール北海道体制で取組を進めていくもの。

(2)推進管理

関連する施策等の取組状況などについて、毎年度、把握し推進管理を行う。

第2 基本的な考え方

【本道経済を取り巻く状況】

大きな転換期にある社会経済

- ●経済のグローバル化
- ●少子高齢化
- ●人口減少

景気回復の遅れ

- ●公的依存度の高い経済構造
- ●低い労働生産性
- ●公共投資の縮減

育ちつつある活性化の芽

- ●成長先導分野における動き
- ●地域の特色ある資源や特性を活用した取組
- ●自動車関連企業の相次ぐ道内進出

【産業人材の育成・誘致の現状と課題】

企業の人材育成環境

- ●専門人材の育成ニーズの高まり
- ●教育訓練費用の低下の傾向/断片的な教育体系

人材の確保

- ●理工系学生の道内就職率の低下
- ●技術系人材の確保難
- ●U·Iターン採用ニーズの高まり

国における産業人材育成政策の強化

- ●経産省、文科省、厚労省などにおける政策強化
- ●高等教育機関と地域の連携活発化

産業人材の育成・誘致サポート体制

●人材育成事例等の情報提供ニーズの高まり

くく産 業 界 全 体 >> 人 材 育 成 の 重 要 性 が 広 く認 識

市場競争力の源泉として重視する項目:「品質・技術力」、「優秀な人材」

(短期的課題)・・・営業力強化、コスト削減など収益性の向上

(中長期的課題)・・・人材育成・確保の強化

第3 方向性

- 「新・北海道総合計画」
- 「北海道経済活性化戦略ビジョン」に基づき 重点分野を設定

〇ものづくり産業

〇食品工業、観光産業、サービス産業 OIT産業、バイオ産業

4つの観点

- 1 ものづくり産業人材の育成
- 2 地域を支え、本道の強みである産業分野や成長先導分野の人材の育成
- 3 道外からの高度な産業人材の誘致の促進
- 4 産業人材育成・誘致サポート体制の充実

第4 展開方向

1 ものづくり産業人材の育成

【現状と課題】

·専門技術の高度化/多様化 ·求められる品質(Quality)/コスト(Cost)/納期(Delivery) ·技術力の低下懸念 ·若年者を取り巻く厳しい就職環境

【展開方向】

- ●ものづくり産業人材の育成に対する支援の強化
- *企業の競争力を高めていくため、専門技術の高度化、多様化の促進
- *特に、自動車産業への参入にあたり、自動車産業が求める品質、コスト、納期等に 対応し、企業活動を牽引する人材の育成

●次代を支える若年者の人材育成の強化

- * 小・中・高校生に対してものづくりへの意識啓発、職業意識の醸成の取組促進
- * 産業教育の充実、高等技術専門学院による人材育成など
- *総合的な支援体制づくりを目指す「ものづくり産業人材育成ネットワーク」の構築 ●施策を効果的に機能させるための体制の整備

【主な取組】

	小·中·高校生	大学·高専·技専等	企業在職者等	
ものづくり	■ものづくり体験会等の機会提供	■インターンシップの促進	■中小企業の支援制度の充実	
産 業	■ものづくり産業に対する	■技専における人材育成	■工業試験場などを活用した技術者/技能者の育成	
	理解促進に向けた職場見	■ジョブカフェ事業の展開	■知財戦略に関する研修の実施 ■技術/技能/ノウハウの承継の取組	
自動車関連	学会、保護者向けセミナー	■自動車関連カリキュラム	■現場力のスキルアップ研修 ■技能検定の取得促進	
産業	等、職業意識の醸成	の導入促進	■生産現場カイゼンゼミナールの開催 ■実用化技術の開発、移転	
	■工場、職業能力開発施設		■製造中核人材の育成 ■企業間インターンシップの促進	
	等の開放促進		■実践型人材養成システムの導入促進	
	■産業教育の充実			
	■ものづくり産業人材育成ネットワークの構築			

2 地域を支え、本道の強みである産業分野や成長先導分野の人材の育成

【現状と課題】

食品工業	観光産業	サービス産業	IT産業	バイオ産業
国内市場の成熟化	・裾野の広い産業	・消費者ニーズの多様化/高度化	下層下請け構造	・地域資源を活用した
·安全·安心、健康志向	・観光に関わる道内産業の連携の弱さ	•人材確保難	・慢性的な人材不足	機能性食品、食品素
・輸入食品の増加、新商品・	・東アジア地域からの観光客増加	•時間的、資金的制約	·時間的制約、	材の開発の取組
新技術開発の活発化	・激化する観光地間競争		経費負担過大	·研究開発型中心
・コスト競争の激化	・大学における観光関連人材の育成			·経営人材、研究人材
雇用のミスマッチ				不足

【展開方向】

●食品工業、観光、サービス産業分野の人材育成

- * (食品)高いコンプライアンス意識を持って、消費者に信頼される安全・安心な商品 づくりに取り組む経営者の育成
- *(食品)付加価値の高い製品開発に取り組む企画・開発、製造、品質管理等各分野の技術系人材の育成
- *(食品)次代を支える担い手の育成・確保
- * (観光)観光産業従事者等の接遇技術の向上など、観光客の受入体制の充実
- * (観光)「地域の魅力づくりを担う人材」、「地域の魅力を的確に情報発信できる人 材」など観光産業に従事する幅広い人材の産学官連携による育成
- * (サービス)インターンシップの受入促進など教育機関、産業界との連携促進
- * (サービス)人材育成に対する経営者の意欲の醸成

●IT、バイオ産業分野の人材育成

- * (IT)技術スキル、マネジメント能力等の向上支援
- * (IT) インターンシップ制度の活用、道外からの高度技術者の確保、海外の優秀な 人材の受入れについて、関係機関と連携の上、検討
- * (バイオ)企業の成長段階に応じた経営人材や研究開発を支える優れた研究人材 の確保、育成

【主な取組】

食品工業	■トップセミナー、講習会の開催など経営者の意識改革の促進 ■企画、開発、製造、品質管理等に対応したアドバイス会などの実施
	■技術研修会の開催 ■技術研修生の受入れ ■大学、公設試験研究機関と企業の共同研究の促進 ■産消協働の取組
観光産業	■地域限定通訳案内士試験の実施 ■通訳ガイドの育成 ■外国人接遇研修の実施 ■アウトドアガイドの育成
	■滞在型観光をサポートする人材の育成、確保 ■観光ホスピタリティに関する研修会の開催 ■観光ボランティアのスキルアップ
	■ご当地検定への支援 ■地域観光マネージャー育成セミナーの実施
サービス産業	■インターンシップの受入れ促進 ■産業振興条例を活用した人材育成 ■人材育成に対する経営者の意欲の醸成を促すセミナー開催
IT産業	■開発の上流工程を担う人材の育成 ■企画提案型企業への移行促進に向けた人材育成 ■公的認証の取得啓発セミナーの開催
	■異業種との人材交流の検討 ■インターンシップ制度等の活用 ■U・Iターン促進 ■海外の人材の活用検討
バイオ産業	■経営人材、研究人材の育成環境づくり ■知財戦略に関する研修、セミナーなどの実施(再掲) ■外部経営支援人材の活用促進

3 道外からの高度な産業人材の誘致の促進

【現状と課題】

・必要とする人材の不足・U・Iターン採用の動き・団塊世代等の人材が再活躍できる仕組みの構築・首都圏と道内での勤務条件の格差

【展開方向】

●関係機関との連携による首都圏などからのU・Iターンの推進

* 企業と求職者のマッチング機会の提供、求人企業、求職者情報量の充実

●企業情報、産業動向や生活関連情報など幅広い情報発信

*企業のビジョン、事業戦略、道内産業の動向、社風などの情報とともに、住環境など生活関連情報の発信

【主な取組】

- ■就職相談から職業紹介に至るワンストップサービスの実施 ■求人情報量の充実 ■求人企業と求職者のマッチング機会の確保
- ■新規求職者の掘り起こし ■人的ネットワークの有効活用 ■企業等OB人材の活用検討 ■企業情報、産業動向、生活関連情報の発信

4 産業人材育成・誘致サポート体制の充実

【主な取組】

- ■「産業人材育成サポート相談室」の設置 ■ホームページ「人材ネット21北海道」の充実
- ■メールマガジン、産業人材育成ガイドの活用など情報発信強化 ■ものづくり産業人材育成ネットワークの構築(再掲)